# 2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年７月31日


上場会社名　　虹技株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　5603　　ＵＲＬ　https://www.kogi.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）山本　幹雄
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役総務担当　　（氏名）谷岡　宗　　ＴＥＬ　079-236-3221

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切り捨て）

## １．2027年３月期第１四半期の連結業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

### （１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期第１四半期 | 6,140 | △0.8 | 13 | △94.5 | 38 | △86.7 | 31 | △84.7 |
| 2026年３月期第１四半期 | 6,186 | △3.6 | 245 | △7.0 | 289 | △7.4 | 205 | 433.0 |

（注）包括利益　　2027年３月期第１四半期　　474百万円（－%）　　2026年３月期第１四半期　　△186百万円（－%）

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期第１四半期 | 9.58 | － |
| 2026年３月期第１四半期 | 62.88 | － |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2027年３月期第１四半期 | 36,547 | 19,663 | 43.0 | 4,792.69 |
| 2026年３月期 | 35,885 | 19,352 | 43.2 | 4,728.16 |

（参考）自己資本　　2027年３月期第１四半期　　15,731百万円　　2026年３月期　　15,519百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | － | 0.00 | － | 50.00 | 50.00 |
| 2027年３月期 | － | | | | |
| 2027年３月期（予想） | | 0.00 | － | 40.00 | 40.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 27,480 | 7.0 | 640 | 3.4 | 570 | △14.8 | 400 | △15.0 | 121.99 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

| | |
|---|---|
| ①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ②　①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③　会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④　修正再表示 | ：無 |

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期1Ｑ | 3,362,163株 | 2026年３月期 | 3,362,163株 |
| ②　期末自己株式数 | 2027年３月期1Ｑ | 79,867株 | 2026年３月期 | 79,867株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 2027年３月期1Ｑ | 3,282,296株 | 2026年３月期1Ｑ | 3,269,852株 |

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

# １．経営成績等の概況

## （１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要に支えられ、経済活動の緩やかな回復を見せたものの、物価高騰による個人消費の落ち込みやアメリカの通商政策の動向、ウクライナや中東情勢の長期化など依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このようなもとで当社グループは、『“Kai（甲斐・解)”を見出す』をキーワードに、①省人化、②脱炭素社会に向けて、③人材育成、の３点を重点課題に設定した、第８次３カ年計画を2025年4月にスタートさせ、より強固な経営基盤の構築と成長戦略の具現化を目指して、製品の販売価格是正による収益の確保ならびにコスト改善諸施策の一層の推進に努めてまいりました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高　61億4千万円（前年同期比　0.8%減）、営業利益1千3百万円（前年同期比　94.5%減）、経常利益　3千8百万円（前年同期比　86.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益　3千1百万円（前年同期比　84.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① Casting Field

鋳型は、鍛造向け大型鋳型の需要が好調に推移し、売上高は、前年同期を上回りました。ロールは、主要顧客先の国内高炉メーカーおよび電炉メーカー向け案件が好調であった一方で、輸出案件の需要が低調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。自動車用プレス金型鋳物は、国内カーメーカーの新型開発計画の動きが依然として低調で、売上高は、前年同期を下回りました。大型産業機械用鋳物は、大型工作機械向けの需要が引き続き好調でしたが、電気自動車関連のプレス機向けの需要が低調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。小型鋳物は、機械・上水関係向けが新商品の受注により好調であった一方で、土木商材向けが工事の遅延の影響を受けて低調に推移し、売上高は、前年同期を下回りました。デンスバーは、国内において建設機械をはじめとした産業機械向け需要が回復基調となったことに加え、輸出案件も好調に推移し、売上高は、前年同期を上回りました。海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、中国景気の悪化や競合他社との競争激化の影響で、売上高は、前年同期を下回りました。連結子会社である株式会社小口合金鋳造所は、FPD露光装置向けの需要は低調でしたが、建設機械部品向けが好調であったことに加え、新規開拓にも注力した結果、売上高は、前年同期並みで推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は、54億7千2百万円（前年同期比　3.8%減)、セグメント利益　1億1百万円（前年同期比　69.6%減）となりました。

② Environment Field・環境エンジニアリング

環境装置事業は、徳島県海部郡の大型案件をはじめとする建設案件の工事が進捗し、売上高は、前年同期を大きく上回りました。送風機は、主要顧客先の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、半導体製造装置向けの需要が回復し、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、3億8千5百万円（前年同期比　26.3%増）、セグメント損失　△8千万円（前年同期　セグメント損失△4千2百万円）となりました。

③ Environment Field・機能材料

ＫＣメタルファイバーは、主要顧客先の需要が伸び悩む中、銅建値の高騰に連動して販売価格が上昇したことにより、売上高は、前年同期を大きく上回りました。

この結果、当事業の売上高は、2億7千5百万円（前年同期比　44.9%増）、セグメント利益　3千1百万円（前年同期比　509.3%増）となりました。

④ その他の事業

当事業の売上高は、6百万円（前年同期比　55.0%増）、セグメント損失　△2百万円（前年同期　セグメント損失△1百万円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は、207億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千1百万円増加いたしました。これは、主として電子記録債権が3億9千7百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が3億6百万円減少した一方、現金及び預金が3億6千1百万円、商品及び製品が2億7千9百万円、仕掛品が1億1百万円、原材料及び貯蔵品が8千2百万円増加したことなどによります。

固定資産は、157億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5千万円増加いたしました。これは、主として有形固定資産のその他に含まれるリース資産が2億4千3百万円減少した一方、投資有価証券が3億7千万円、退職給付に係る資産が2億9千1百万円、機械装置及び運搬具が1億1千2百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、365億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億6千1百万円増加いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は、134億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5千8百万円増加いたしました。これは、主として流動負債のその他に含まれる未払金が5億4千2百万円減少した一方、短期借入金が3億6千1百万円、流動負債のその他に含まれる前受金が3億4千1百万円増加したことなどによります。

固定負債は、34億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9千3百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が1億円減少した一方、退職給付に係る負債が1億5千７百万円、繰延税金負債が1億3千8百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、168億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千1百万円増加いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は、196億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千万円増加いたしました。これは、主としてその他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の43.2%から43.0%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（2026年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,428 | 2,790 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 11,292 | 10,985 |
| 電子記録債権 | 2,759 | 2,362 |
| 商品及び製品 | 1,354 | 1,634 |
| 仕掛品 | 1,268 | 1,369 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,304 | 1,386 |
| その他 | 256 | 246 |
| 流動資産合計 | 20,664 | 20,775 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,883 | 2,934 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 4,228 | 4,340 |
| 土地 | 1,340 | 1,340 |
| その他（純額） | 1,428 | 1,139 |
| 有形固定資産合計 | 9,881 | 9,756 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 63 | 59 |
| その他 | 427 | 438 |
| 無形固定資産合計 | 490 | 497 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,311 | 4,682 |
| 長期貸付金 | 3 | 3 |
| 繰延税金資産 | 10 | 12 |
| 退職給付に係る資産 | 432 | 724 |
| その他 | 90 | 95 |
| 投資その他の資産合計 | 4,848 | 5,517 |
| 固定資産合計 | 15,220 | 15,771 |
| 資産合計 | 35,885 | 36,547 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（2026年６月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,885 | 3,128 |
| 短期借入金 | 7,183 | 7,544 |
| 未払法人税等 | 32 | 18 |
| 賞与引当金 | 330 | 112 |
| その他 | 2,841 | 2,626 |
| 流動負債合計 | 13,273 | 13,431 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,850 | 1,750 |
| 繰延税金負債 | 1,373 | 1,511 |
| 退職給付に係る負債 | － | 157 |
| その他 | 36 | 33 |
| 固定負債合計 | 3,259 | 3,452 |
| 負債合計 | 16,532 | 16,884 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,002 | 2,002 |
| 資本剰余金 | 602 | 602 |
| 利益剰余金 | 9,043 | 8,910 |
| 自己株式 | △85 | △85 |
| 株主資本合計 | 11,563 | 11,430 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,292 | 2,543 |
| 繰延ヘッジ損益 | △12 | △23 |
| 為替換算調整勘定 | 1,201 | 1,337 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 474 | 442 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,956 | 4,300 |
| 非支配株主持分 | 3,833 | 3,932 |
| 純資産合計 | 19,352 | 19,663 |
| 負債純資産合計 | 35,885 | 36,547 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 6,186 | 6,140 |
| 売上原価 | 5,104 | 5,299 |
| 売上総利益 | 1,081 | 840 |
| 販売費及び一般管理費 | 836 | 826 |
| 営業利益 | 245 | 13 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 66 | 65 |
| その他 | 26 | 22 |
| 営業外収益合計 | 93 | 88 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 36 | 40 |
| その他 | 12 | 22 |
| 営業外費用合計 | 49 | 63 |
| 経常利益 | 289 | 38 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 24 | － |
| 特別利益合計 | 24 | － |
| 税金等調整前四半期純利益 | 313 | 38 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6 | 2 |
| 法人税等調整額 | 55 | 36 |
| 法人税等合計 | 62 | 38 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | 251 | △0 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△） | 46 | △31 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 205 | 31 |

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年６月30日） |
|---|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | 251 | △0 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △38 | 251 |
| 繰延ヘッジ損益 | 4 | △10 |
| 為替換算調整勘定 | △376 | 266 |
| 退職給付に係る調整額 | △26 | △32 |
| その他の包括利益合計 | △437 | 475 |
| 四半期包括利益 | △186 | 474 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △47 | 375 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △138 | 98 |

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年６月30日） |
|---|---|---|
| 減価償却費 | 375百万円 | 439百万円 |
| のれんの償却額 | 3百万円 | 3百万円 |

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ．前第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Casting Field | Environment Field・環境エンジニアリング | Environment Field・機能材料 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 鋳物 | 5,650 | － | － | 5,650 | － | 5,650 | － | 5,650 |
| 環境エンジニアリング・環境 | － | 70 | － | 70 | － | 70 | － | 70 |
| 環境エンジニアリング・機械 | － | 211 | － | 211 | － | 211 | － | 211 |
| 機能材料 | － | － | 190 | 190 | － | 190 | － | 190 |
| ソーラー | － | 22 | － | 22 | － | 22 | － | 22 |
| その他 | 35 | － | － | 35 | 4 | 40 | － | 40 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,686 | 305 | 190 | 6,182 | 4 | 6,186 | － | 6,186 |
| その他の収益 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 外部顧客への売上高 | 5,686 | 305 | 190 | 6,182 | 4 | 6,186 | － | 6,186 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | 1 | － | 1 | － | 1 | △1 | － |
| 計 | 5,686 | 306 | 190 | 6,184 | 4 | 6,188 | △1 | 6,186 |
| セグメント利益又は損失（△） | 332 | △42 | 5 | 294 | △1 | 293 | △4 | 289 |

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△4百万円に、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△74百万円、営業外収益82百万円、営業外費用が△12百万円含まれております。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ．当第１四半期連結累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Casting Field | Environment Field・環境エンジニアリング | Environment Field・機能材料 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 鋳物 | 5,423 | － | － | 5,423 | － | 5,423 | － | 5,423 |
| 環境エンジニアリング・環境 | － | 120 | － | 120 | － | 120 | － | 120 |
| 環境エンジニアリング・機械 | － | 244 | － | 244 | － | 244 | － | 244 |
| 機能材料 | － | － | 275 | 275 | － | 275 | － | 275 |
| ソーラー | － | 19 | － | 19 | － | 19 | － | 19 |
| その他 | 48 | － | － | 48 | 6 | 55 | － | 55 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,472 | 385 | 275 | 6,133 | 6 | 6,140 | － | 6,140 |
| その他の収益 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 外部顧客への売上高 | 5,472 | 385 | 275 | 6,133 | 6 | 6,140 | － | 6,140 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | 1 | － | 1 | － | 1 | △1 | － |
| 計 | 5,472 | 386 | 275 | 6,134 | 6 | 6,141 | △1 | 6,140 |
| セグメント利益又は損失（△） | 101 | △80 | 31 | 52 | △2 | 49 | △11 | 38 |

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△11百万円に、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△67百万円、営業外収益79百万円、営業外費用が△22百万円含まれております。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。